

参加者募集中の講座・教室のご案内

親子で楽しむ「こども森の写真教室」参加者募集

写真家の先生を講師に招き、撮り方のレクチャーから楽しく学べる森の写真教室を開催！
カメラの技術を学んで、森を探検し、発見をカメラに収めよう。

- 日時 8月2日(日)10:00～13:00
- 場所 三重県林業研究所(津市白山町二本木 3769-1)
※開催日時・場所は、変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。
- 講師 写真家 松原豊氏
- 定員 小中学生とその家族7組15名(先着順)
- 締切 7月20日(月)まで



※写真は昨年度の様子です。

令和2年度 森林環境教育指導者養成講座 年間予定のおしらせ ※予定ですので、急遽変更になる場合もございます。予めご了承ください。

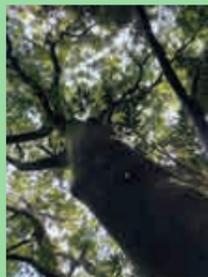
講座名	講座内容	定員	開催時期(予定)	開催場所(予定)
森林環境教育指導者養成講座(アクティブラーニング)	アクティブラーニングの手法について学び、理解して実際個々の活動に取り入れられるようにする	15名	令和2年7月11日(土)	三重県四日市庁舎
森林環境教育指導者養成講座(森林の基礎知識)	基本的な知識の習得。①講話:「森林の多面的機能について」②見学とディスカッション:「森林への気付きや疑問に関すること」	10名	令和3年2月か3月頃	松阪地域(飯高方面)
森林環境教育指導者養成講座(インタープリテーション)	インタープリター養成研修。今回は特に、伊勢地域の魅力を引き出せるインタープリターをめざす	10名	令和2年7月以降	皇學館大学
木育指導者初級研修	三重県の木育指導者を養成するための基礎講座	20名	令和2年8月29日(土)	三重県上野森林公園
森のせんせいスキルアップ講座(LEAFローカルインストラクター)	森林環境教育コーディネーター養成研修。LEAFプログラムの体験を通じ、企画手法を学習	10名	令和2年7月か8月	亀山地域
森のせんせいスキルアップ講座(幼児を対象としたインタープリテーション)	森林環境教育インタープリターとしてのコミュニケーション能力向上研修。幼児環境教育とインタープリテーションの理解と実践	20名	令和2年9月12日(土)～9月13日(日)	天満荘(三重大学 東紀州産業振興学舎)
森のせんせいスキルアップ講座(木育指導者中級研修)	木育インストラクターとして、より幅広い知識と技術を習得	10名	令和2年夏以降	三重県総合文化センター

イベント開催のお知らせ

「第7回みえの森フォトコンテスト」の作品を募集します!

写真の撮影を通じて森や木に親しみ、その大切さを知っていただくことを目的とした「みえの森フォトコンテスト」を開催します。「三重の森林」をテーマとして、「森林や木」、「森林や木と人とのふれあい」などについて表現した作品を募集します。カメラを持って森へ行こう!

第6回コンテスト〈最優秀賞作品〉



「森の守り主」
松阪市立中川小学校6年 山田 迦生さん



「森のゾウさん」
紀北町立三船中学校3年 喜多 台さん

- *応募期間
令和2年6月1日(月)～
令和2年10月11日(日)まで
- *応募対象
県内在住の18歳までの方
- *詳細・応募はサポートセンターまで



発行: 三重県 編集: みえ森づくりサポートセンター
TEL: 059-261-1223 FAX: 059-261-4153 mail: miemori@zc.ztv.ne.jp
web http://www.zc.ztv.ne.jp/miemori facebook https://www.facebook.com/miemoridukuri/



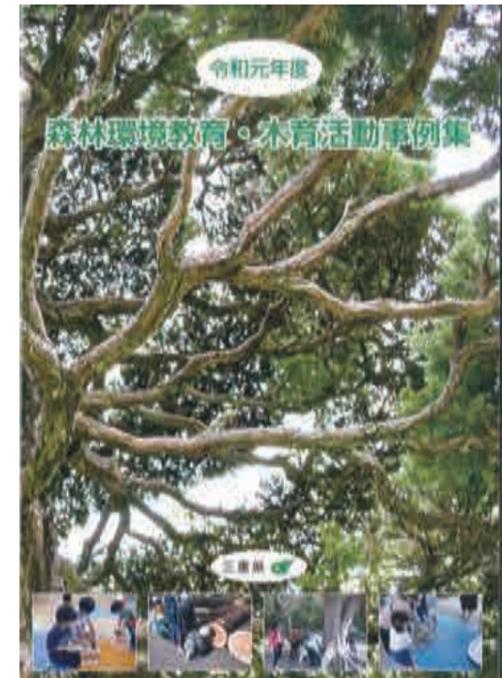
MORI DUKURI NEWS 2020.6 拡大号

TOPICS /

県内で行われる森林環境教育や木育の活動事例集を発行しました



事例集中面



事例集表紙

三重県内の学校などでは、森林や木について学習する様々な活動が行われています。それらの取組の中、令和元年度に行われたものをまとめた『森林環境教育・木育活動事例集』を発行しました。森林内での林業体験や自然観察から教室内での座学や木工体験まで、学校などからいただいた情報を取りまとめた一冊です。教育活動に取り組まれる皆さまの今後の活動の参考にいただければ幸いです。みえ森づくりサポートセンターのホームページから事例集の閲覧やデータのダウンロードも可能です。過去の事例集も閲覧できますので、どうぞご覧ください。お問い合わせは、みえ森づくりサポートセンターまで。

三重県民ホールで「第6回みえの森フォトコンテスト入賞作品展」を開催しました



県民ホール(三重県庁1階)での展示の様子

4月27日(月)～5月15日(金)の期間、三重県庁1階にある県民ホールにて展示開催しました。三重の森林や森をテーマにして、子どもたちの素直な視点でとらえ、入賞した作品28点を展示しました。今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、積極的に展示のご案内をしませんでした。県庁に用事で立ち寄られた方々にホッと一息の空間として、三密にならないよう間隔を空けて鑑賞していただきました。併せて、「国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール」の入賞作品展も開催しました。

pick up

森づくり活動団体 「榊原未来会議」 (津市)



代表 越野健司氏

みえ森づくりサポートセンターには、森林・林業や木育に関するさまざまな知識や技術を持った方々が森のせんせいや森づくり活動団体として登録されており、県内各地域で森林環境教育・木育活動や森林整備活動を行ってまいります。この「pick up」コーナーでは、森づくり活動団体の活動を紹介していきます。今回は、「榊原未来会議」取材しました。

榊原地域の活性化に貢献し、元気ある魅力的な榊原にしたいという思いをもとに様々な活動に取り組んでいます。

【活動内容】

◆「さかきばら森の公園」整備 ◆さかきばら森のがっこう ◆未来会議農園 ◆川守プロジェクト
そのほか、これまでに開催したイベントは、
◆榊原でESD 子どもたちの榊原を一緒に考えよう ◆榊原まるごとキャンプ ◆森フェス

【設立について】

- 平成23年5月「活性化アクションプラン」完成
地域の活性化を考えるため、自治会・榊原温泉振興協会・旅館組合・財産区議会・老人クラブ連合会・若者世代を中心とした地域住民らが集まり協議を重ねました。
- 平成25年「榊原未来会議」設立
「活性化アクションプラン」完成をきっかけに、次世代を担う「榊原の若者世代で構成された団体」として設立しました。



現在は榊原温泉、豊かな自然、歴史などの地域の資源を活用し、地域内外の子ども、ファミリーを中心に榊原を楽しめる活動を続けています。

◇「さかきばら森の公園」整備

5年ほど前から地域の方の大切な里山をお借りして、里山広場を作る整備（整地、道作り、植樹、芝張りなど）を進めながら、自然体験や音楽イベントなどを行い、子どもから大人まで様々な世代が交流するコミュニティのフィールドとして活用しています。

昨年度は津市の助成金や「子どもたちの未来の森づくり事業」〔株〕ファミリーマート募金寄付による都道府県緑化推進委員会推薦事業）を活用して、広場周辺を整備し、林内も子どもたちが自由に入って自然で遊び、体験できるフィールドづくりを進めています。子どもたちが相談、協力し、自分たちで遊びを作ることをコンセプトとしています。将来的には、小学校や幼稚園などとも連携して、自然体験の学びの場所にしていく予定です。



さかきばら森の公園広場



間伐材の運び出し



植樹



芝張り



竹チップ敷き



「津市地域かがやきプログラム事業補助金」を活用

【他団体との協力、地域とのつながり】

里山整備については、大台町のみやがわ森選組から整備の方法などの指導を受けたり、パナソニックコンシューマーマーケティング労働組合に協力いただいたりと、企業への協力を推進しています。

地域の中でも、福祉団体、旅館などとも連携をはじめ活動の幅を広げています。



里山広場をみんなで整備しながら、植樹した樹木にオリジナルの樹名板を付けて、樹木やフィールドへの愛着を持ってもらえるようにしています。



整備を行う前には、樹木医にご協力いただき、生育している樹木を調査して把握し、樹木の生長に優しい整備を行っています。

◇榊原まるごとキャンプ

さかきばら森の公園を中心にして、子どもたちだけの自然体験キャンプを開催。子どもが考え、みんなで協力して実行し経験できるプログラムで、スタッフは見守って子どもたちの自主性・協調性を大切にしました。



アウトドアクッキング、木登り、竹ランタンづくり、星空観察 など

2014年～
毎年8月開催！
今年は10月開催
予定！

森の公園広場

◇さかきばら森のがっこう

さかきばら森の公園にて、五感を使って自然を存分に楽しめるイベントを開催。

- ・ワークショップ …カホン、竹ランタン、キーホルダー作りなど
- ・ネイチャーゲーム …森のカラーパレット、ネイチャーサウンドなど
- ・アクティビティ …スラックラインなど
- ・癒しアイテムの設置…もりぼーる、ハンモック、ハイジのブランコなど



◇森フェス

さかきばら森の公園で開催した音楽イベントの野外フェスタ。アーティストのライブと木工ワークショップや地域の食材を使ったフードの出店などもありました。榊原温泉の入浴もセットにしました。音楽イベントを楽しんだ後は、森のスクリーンで映画鑑賞や希望者にはキャンプも実施しました。



Q. 地域の将来を担う子どもたちへの願いはありますか？

たとえ気付いていなくても、自然豊かな地域で経験したことや地域の人とつながっていたことは、必ず生きていく中で役に立つはず。だから、自然豊かな田舎で育ったことに自信を持ってほしいです。そのためにも、みんなで持続可能な地域にしていきたいと思っています。



取材をしての感想

公園整備では、榊原未来会議のスタッフ、地域の子どもたち、他の森づくり活動団体の方々が整備に取り組みされていました。整備中は子どもたちも真剣にお手伝いをしており、公園の完成を楽しみにしているようです。

取材に伺った日は、植林された場所でヒノキやスギの間伐、枯れ木やかかり木などの危険木の伐採、竹林整備をメインに作業されていました。

間伐材の枝葉や竹材はチップパーシュレッダー機でチップ材にし、公園までの道に敷きつめました。ふかふかの道の完成に大喜びの子どもたち。

休憩時間では集積袋（フゴ）に入って飛んだり転がったり、箕をソリにして芝生の山をすべったり…。子どもたちが自分の手で拓いていく公園、愛着を持ち大切にしていこうと決まっています。

整備にあたって作業が難しい、どうすべきか迷った場合は、的確に指示をくれる経験豊富で知識、実績のある他の森づくり活動団体の協力を得て、より安全に正しい手順での作業が進められていました。



【榊原未来会議が目指すもの】

- ・地域の自然や森の公園を通じて、子どもたちに自然に関わる意味や自然の必要性に気づくための、サポートの実施。そのためにこの地域の自然を守ることを広めていくこと。
- ・温泉を含めた地域資源を活用して、多くの人が楽しいと感じられる地域づくりに協力すること。